

令和6年度中学生チャレンジテスト(3年生)の結果概要

大阪府教育庁

○内容

・中学校第3学年：国語、社会、数学、理科（選択問題A・B・C）、英語
生徒アンケート

○対象

・府内の市町村立中学校、義務教育学校後期課程
及び府立中学校並びに支援学校中学部の第3学年

○実施校数(9月3日実施分)

・473校

○実施生徒数(9月3日実施分)

・58,369人

中学校3年[国語]

平均点

65.2点

無解答率

5.3%

良好

- 文章の中での接続詞の働きを理解すること。
- 文章や資料の構成や役割をふまえ、内容を把握すること。

課題

- 伝える相手や目的に応じて、文章を適切な表現に書き直すこと。
- 資料からわかることを整理し、条件にしたがって書くこと。

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★文章を書くときは、伝える相手や目的に応じて、常体や敬体、時制などを使い分け、文章全体で文末表現がそろるように書きましょう。
- ★資料をふまえて考えを書くときは、まず資料からわかることを箇条書きで書き出してみましょう。そして、書き出したものを条件にしたがって取捨選択し、筋道を立てて文章を組み立てましょう。

中学校3年[理科A]

平均点

48.3点

無解答率

6.2%

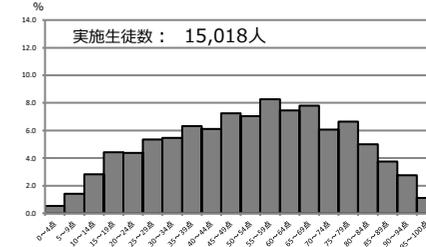
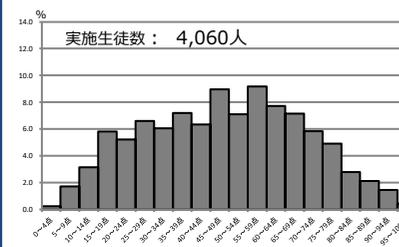
中学校3年[理科B]

平均点

52.4点

無解答率

5.0%



中学校3年[社会]

平均点

50.4点

無解答率

5.0%

良好

- 土地の標高について、地形図から読み取った情報をもとに考えること。
- ツバルで起きている環境問題（海面上昇）について理解すること。

課題

- 歴史に関わる事象について、起こった出来事の推移に着目して考察すること。
- 複数の資料に示されている情報をもとに、考察した内容をまとめること。

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★歴史に関わる事象については、起こった出来事の流れやつながりをとらえて理解するようにしましょう。
- ★複数の資料があるときは、それぞれの資料からわかることを整理したうえで、比較したり関連付けたりして、考えたことをまとめてみましょう。

中学校3年[理科C]

平均点

52.3点

無解答率

4.4%

良好

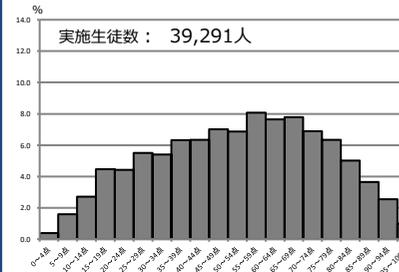
- 節足動物の特徴や哺乳類の子のうまれ方について理解すること。
- 天気図における、前線の記号について理解すること。

課題

- ガスバーナーの基本的な操作方法について理解すること。
- 電磁誘導に関する知識を活用し、二つのコイルのうち一方に電流を流したときに他方に起こる現象について考えること。

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★実験や観察をするときは、使用する器具の正しい使い方を、なぜそのようにするのかという理由も含めて、理解するようにしましょう。
- ★身の回りには、電磁誘導の仕組みが使われているものがたくさんあります。それを探して、詳しい仕組みを調べてみましょう。



中学校3年[数学]

平均点

49.1点

無解答率

14.8%

良好

- 正の数と負の数の計算や分母の有理化をすること。
- 立体図形における直線と直線の位置関係(ねじれ)を理解すること。

課題

- 平行四辺形の辺や角などの特徴を理解し、四角形が平行四辺形であることを証明すること。
- 複数の箱ひげ図からデータ分布の傾向を比較して読み取ること。

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★証明するときは、証明全体の流れを理解することが大切です。そのために、まず教科書等に掲載されているすでに完成した証明を読むことから始めましょう。そこから、結論に導くためのポイントや、「したがって」などの言葉を使った説明の仕方を理解するようにしましょう。
- ★データを分析するときは、まず、中央値や階級値等、データの活用で使う用語の意味を理解しましょう。そのうえで、ヒストグラムや箱ひげ図等から、データ分布の傾向を読み取ってみましょう。

中学校3年[英語]

平均点

53.6点

無解答率

6.9%

良好

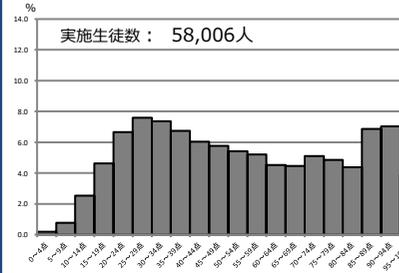
- 日常的な話題についての会話を聞き、話の概要を捉えること。
- 資料を読んだうえで会話を聞き、話の要点を把握すること。

課題

- 文法や語彙の知識を活用し、場面に応じた英文を書くこと。
- 社会的な話題について、まとまった会話文を読み、話の要点を把握し、概要を捉えること。

【これからの学習に向けたアドバイス】

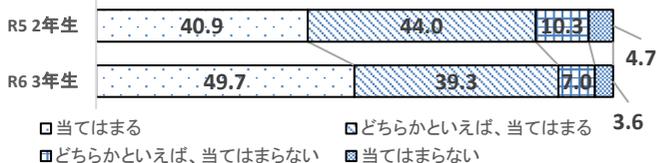
- ★文法や語彙は、コミュニケーションを支えるものです。繰り返し書いたり読んだりして理解しましょう。そのうえで、コミュニケーション等の場面において、どの文法や語彙を使うのが適切かを考えましょう。また、日記やレポートなど、さまざまな場面で繰り返し使いましょう。
- ★まとまった英文を読むときは、学習した文法や語彙、文章中に使われているイラストや写真、図表などを参考にして、おおよその意味を予想しながら読んでみましょう。



過去のクロス集計(生徒アンケートと教科平均点の結果を比較し、どのような関連があるかを分析したもの)の結果から、肯定的な回答をしている生徒ほど教科のテストの平均点が高い傾向が見られた、普段の学習や生活の中でみなさんが取り組んだり意識したりしてほしいことを、今回実施した生徒アンケート項目の中から取り上げました。学習するときや普段の生活など、4つの場面に分けて整理しましたので、ぜひこれからの学習や生活の参考にしてください。なお、2段に並べたグラフのうち、上段は昨年度(2年生時)に実施したアンケートの結果、下段が今回(3年生時)のアンケート結果のグラフです。昨年度からの全体の変化も、自分の結果と比べる際の参考にしてください。

学習するとき意識しよう

■ 文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。



■ わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。

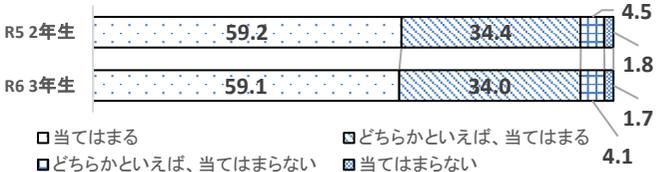


学習に関するアンケート項目のうち、大事なところを考えながら読んでいるという項目は、昨年度よりも肯定的な回答の割合が増加し、多くの生徒が大事なところに着目して文章や資料を読むようになっていることがわかりました。また、わからないことを図書館資料やインターネットなどで調べているという項目は、昨年度よりも肯定的な回答の割合がやや増加しました。

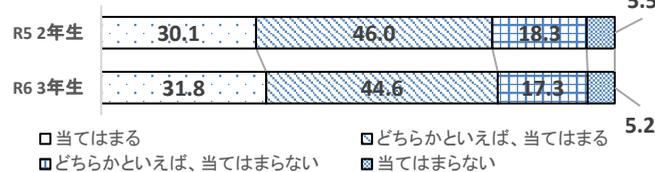
大事なところを考えながら読むことで、文章や資料を深く理解することにつながります。またわからないことは、その都度調べることで確かな理解につながります。学習するときは、ぜひこの2つのポイントを意識しましょう。

学校などでの生活で意識しよう

■ 学校などで、他の人と協力し合うことができる。



■ 難しいことがあっても、あきらめない。

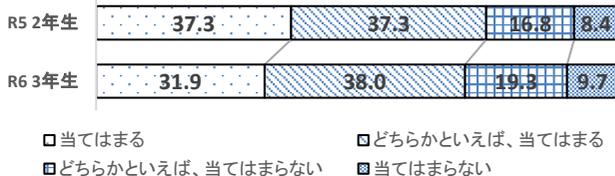


学校などでの生活に関するアンケート項目のうち、難しいことがあってもあきらめないという項目は、昨年度よりも肯定的な回答の割合がやや増加しました。他の人と協力し合うことができるという項目は、肯定的な回答の割合が昨年度とほぼ同じで、90%以上の多くの生徒が他の人と協力し合うことができていると感じていることがわかります。

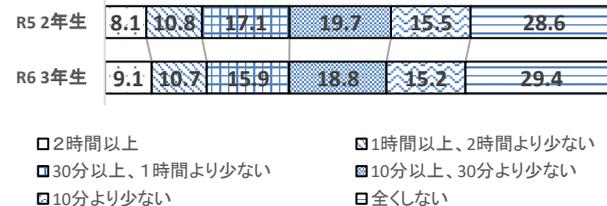
他の人と協力して課題に取り組んだり、難しいことにあきらめずに取り組んだりすることは、自分の力をさらに伸ばすことにつながります。学校の授業や、普段の生活で、ぜひこの2つのポイントを意識してみましょう。

普段の生活で取り組もう

■ テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。



■ 普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか。

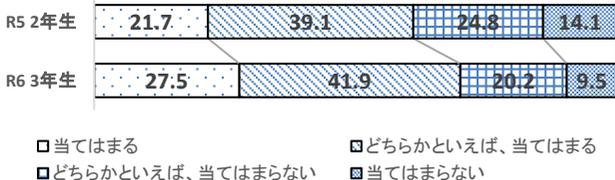


普段の生活に関するアンケート項目のうち、社会的な出来事に関するニュースを見ているという項目は、昨年度よりも肯定的な回答の割合が減少しました。読書の時間に関する項目は、1日2時間以上と回答した生徒の割合は昨年度よりもやや増加しましたが、全くしないと回答した生徒の割合もやや増加しました。

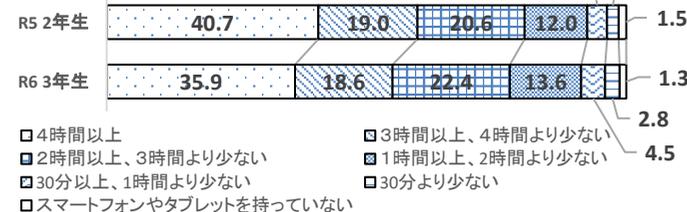
さまざまなことを知っているということは、違う角度から物事を考えたり判断したりするときに役立ち、学習する際の原動力になります。まずは、気軽にニュースを見たり、読書をしたりしてみましょう。今まで知らなかったことに出会うことができ、みなさんの世界が広がることでしょう。

家庭での過ごし方を振り返ろう

■ 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



■ 普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っていますか。



家庭での過ごし方に関するアンケート項目のうち、家で必要なところなどを考えて勉強しているという項目は、昨年度よりも肯定的な回答の割合が増加しました。決まった課題だけでなく、自分に必要なことを考えて勉強することは、自分の力を高めることにつながります。

また、スマートフォンやタブレットを学習以外に1日4時間以上使っている生徒の割合は、昨年度より減少したものの、引き続き一定数いることがわかりました。適度な時間の使用であれば、気分転換にもなりますが、過度な時間の使用になっていないか、保護者と一緒に、普段の使い方を振り返ってきましょう。

